

## 第 32 回山陰認知症ケア研究会のトークセッションが

日本海新聞 2018 年 3 月 20 日に掲載されました。



【記事内容（日本海新聞 2018 年 3 月 20 日掲載）】

主演升毅さん熱い思い語る

米子で映画「八重子のー」上映会

若年性アルツハイマー病の妻と、介護する夫との夫婦愛を描いた映画「八重子のハミング」の上映会（山陰認知症ケア研究会主催）が 17 日、米子コンベンションセンターで開かれ、市民ら約 400 人が観賞した。佐々部清監督を交えたトークセッションには主演俳優の升毅さんも駆け付け、映画への熱い思いを語った。同作品は、陽（ひなた）信孝さんの原作を元に佐々部監督が脚本を手掛け、ロコミで全国に上映が広がった。

佐々部監督は、「終盤で主人公が語る『怒りには限界があるが、優しさには限界がない』という言葉に行き着く映画にしたかった」と説明。升さんはその場面を「それまでの撮影を通じて夫婦としての体験を積み重ね、心から語ることができた」と振り返った。

映画製作に協力した米子シネマクラブの吉田明広会長は「大人が楽しめるすてきな恋愛映画として成立している」と評し、福岡県大牟田市のグループホーム「ふぁみりえ」の大谷るみ子ホーム長は「映画を通じ（認知症理解の）扉が開くのでは」と期待を込めた。